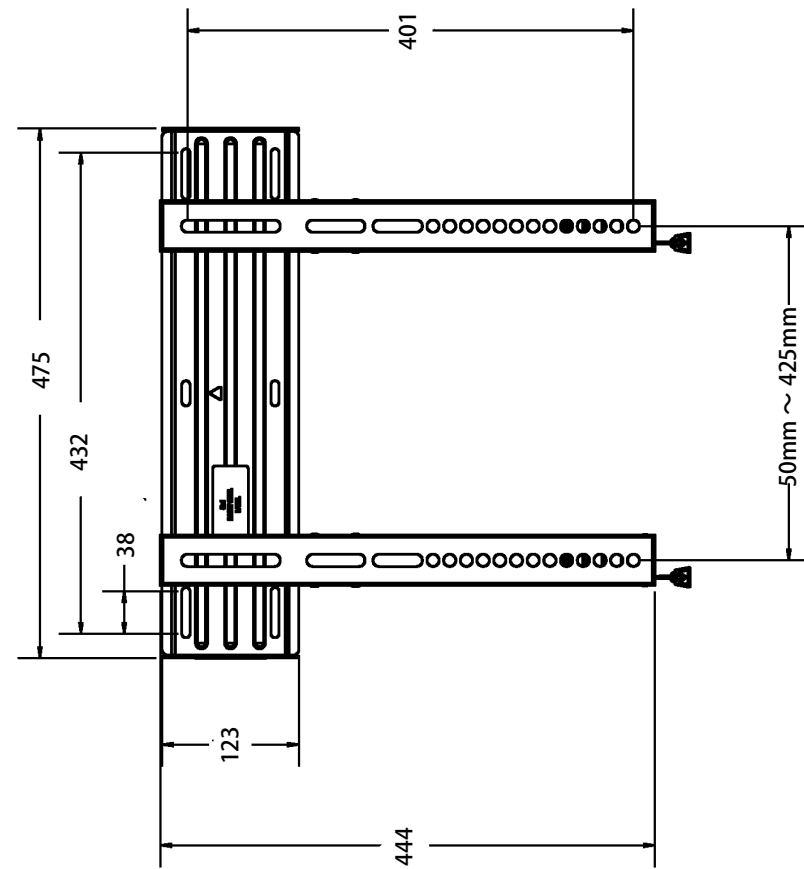
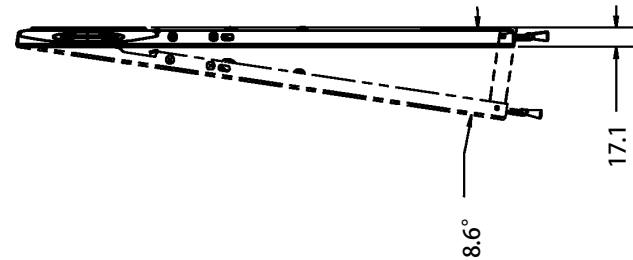
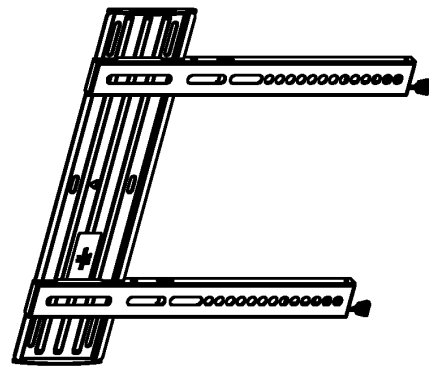


4. VML10 外観図



単位：mm
尺度：任意

図 K

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16
ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050
http://www.network-jpn.com/ E-mail: info@network-jpn.com

SANUS | SYSTEMS

VML10 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 36kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、VML10 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VML10 は 26 ～ 47V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行ってください。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告

禁止 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

強制 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

気をつける 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

VML10 壁掛け金具は、26V 型～ 47V 型で、総重量 36kg 以下プラズマ及び液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリートの壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての順序を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

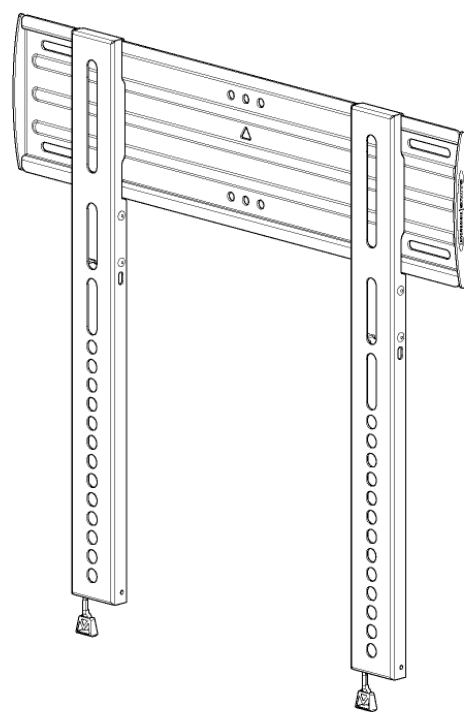


壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

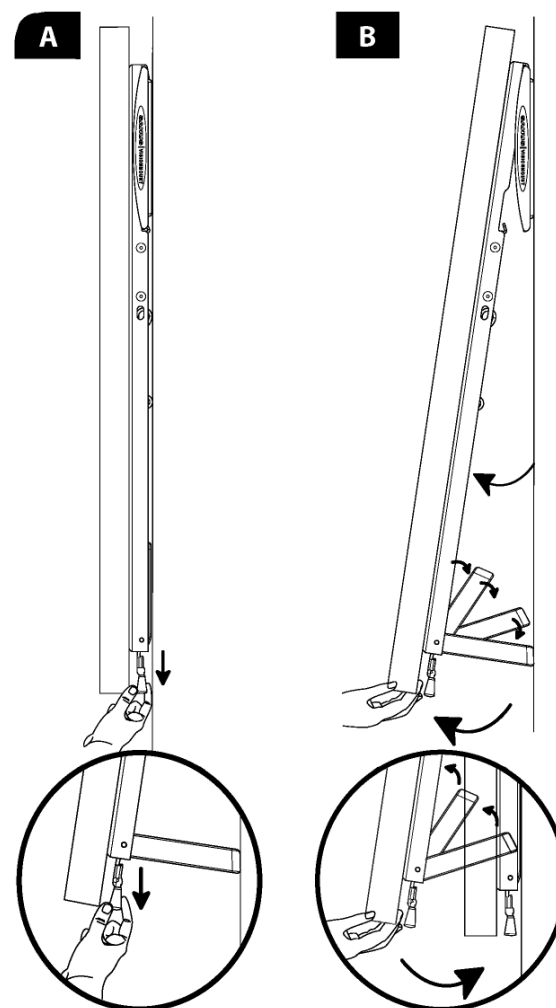
参考 組立完成図



(2)

8 ケーブル類の管理

- (1) 薄型テレビへの電源コードやアンテナケーブル類や、HDMI ケーブル等のオーディオ・ビデオケーブル類を接続する場合は、次の手順で作業して下さい。
- (2) (A 図) に示すように、モニターブラケットの最下部に取り付けてあるリリースコードを、下方向に引きます。
- (3) リリースコードを引いて (B 図) のように、薄型テレビを前面方向に引っ張ると、モニターブラケットの裏側にあるスタンドが立ち上がり、壁面と薄型テレビの間に衝立の役目をさせ、空間を設けます。
- (4) この空間を活用して、ケーブル類の接続をして下さい。(C 図)
- (5) ケーブル類の接続が完了すれば、もう一度リリースコードを下方向に引いて、スタンドを持ち上げます。
- (6) 薄型テレビを手で支えながら、壁に向かってそっと戻します。スタンドは上方向にスライドします。



リリースコードを引く

スタンドを立てる

J 図

注意：スタンドが立ち上がった状態ではテレビは固定されていないので、不安定です。
この工程は、大人二人で作業して下さい。

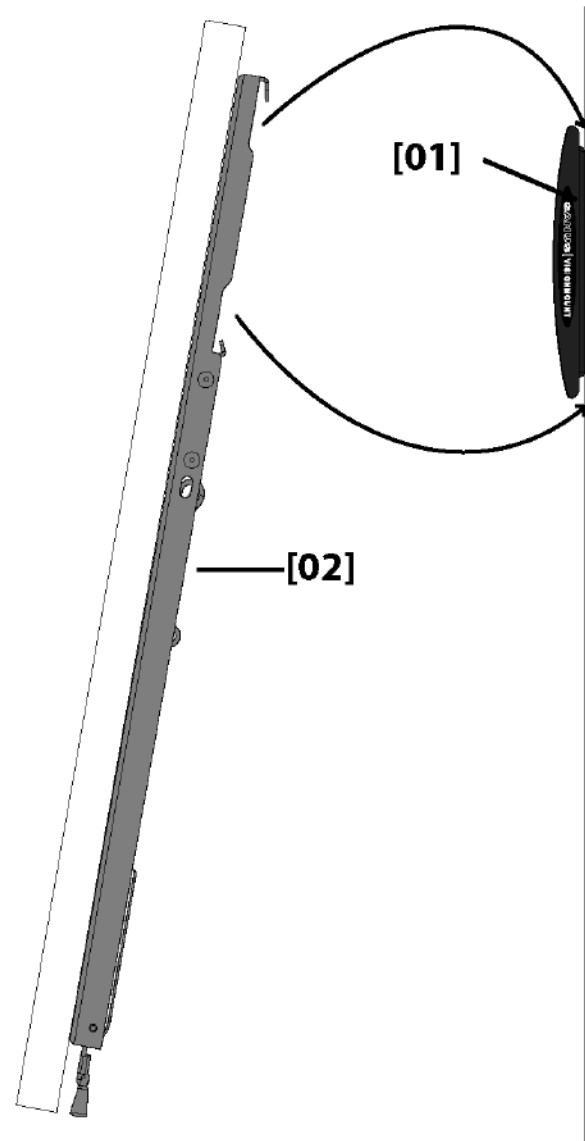
(11)

7 薄型テレビを壁面取付金具に取り付ける

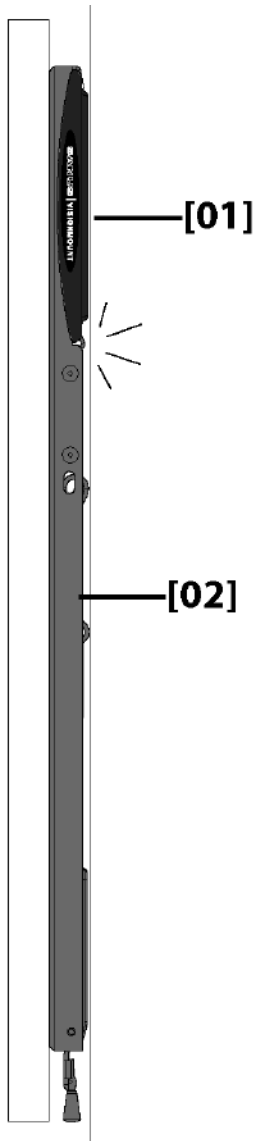


注意：この項の取り付け作業は、けがや財産の損傷の恐れがあるので、必ず大人二人で行って下さい。

- (1) (1図) に示すように、薄型テレビに取り付けたモニターブラケット [02] の上部を、壁面取付金具 [01] に上から引っかける要領で取り付けます。
- (2) 次にモニターブラケットの下側を (1図) のように壁面取付金具に押しつけて取り付けます。
- (3) (2図) は、取付状況を見やすい角度で示しています。



(1図)



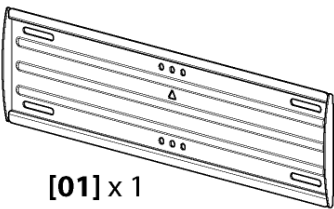
(2図)



2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。

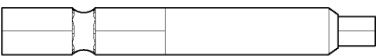
A 図



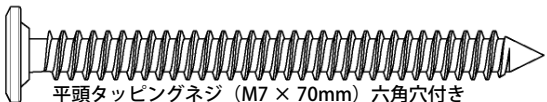
[01] x 1
壁面取付金具



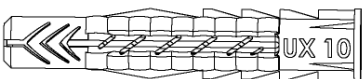
[02] x 2
モニターブラケット



[03] x 1



[04] x 4
平頭タッピングネジ (M7 x 70mm) 六角穴付き



[05] x 4



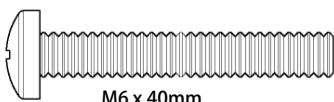
[06] x 4
M4 x 12mm



[07] x 4
M4 x 30mm



[08] x 4
M6 x 14mm



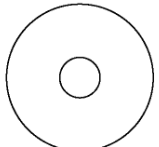
[09] x 4
M6 x 40mm



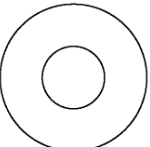
[10] x 4
M8 x 16mm



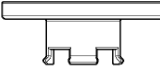
[11] x 4
M8 x 40mm



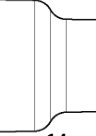
[12] x 4
M4 ワッシャー



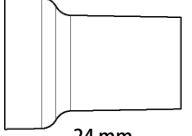
[13] x 4
M6/M8 ワッシャー



[14] x 4



[15] x 4
14 mm



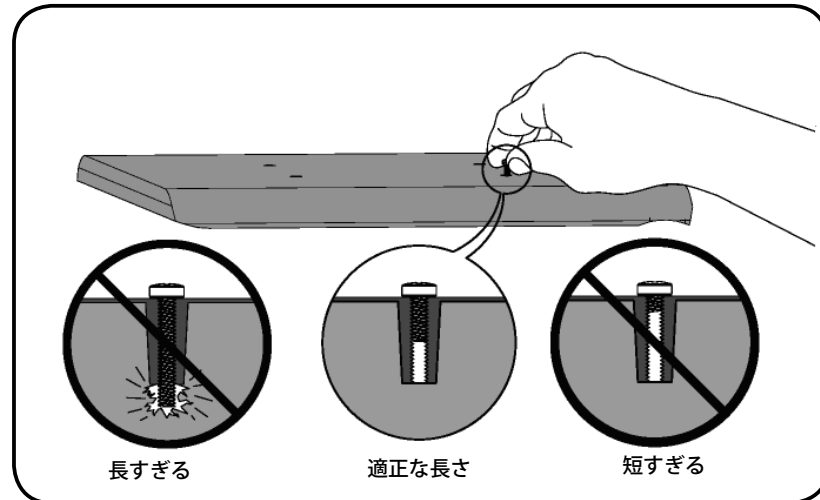
[16] x 4
24 mm

3 組み立てかた

1 組み立て前の準備

1 モニターブラケット取付用ネジの口径と長さの調査

組み立てを始める前に、お使いの薄型テレビの背面のネジ穴に、ネジを手でねじ込んで、正しいネジの口径と長さかを調査します。万一ねじ込んでいて抵抗があった場合、直ちにねじ込むのを中止し、一段短いネジで固定します。



B 図

注意：ケガ等の傷害や財産の破損が起こらないように注意してください。必要最小限の長さのネジ使用しなければなりません。使用するネジ長が長すぎる場合、モニター内部のコンポーネントを破損する恐れがあります。

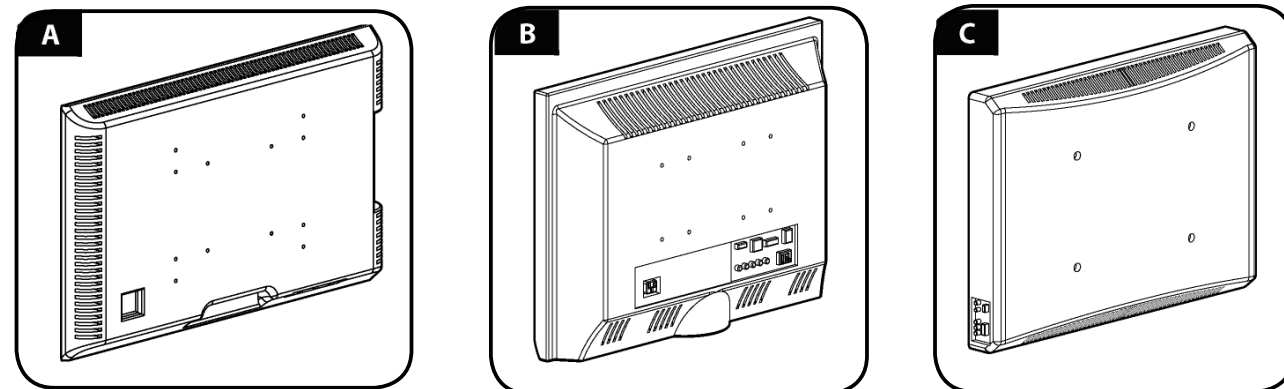
2 薄型テレビの背面形状の確認と、モニターブラケット取付方法の選択

(1) お使いの薄型テレビのタイプによって、使用する部品類や、モニターブラケットの取付方法が決まります。薄型テレビの背面の形状により次の3つの中から最適なものを選択して下さい。

A タイプ 背面が平らな薄型テレビであり、スペーサーを使用しない組み立ての場合。
5 頁の2項に従って取り付けます。

B タイプ 背面が曲がっていたり、障害物や窪みがあり、14 mm のスペーサーを使用して組み立てる場合。
6 頁の3項で 14mm スペーサーを取り付けます。

C タイプ B タイプより背面の曲がり具合や、障害物や、窪みが大きく、24 mm のスペーサーを使用して組み立てる場合。
6 頁の3項で 24mm スペーサーを取り付けます。



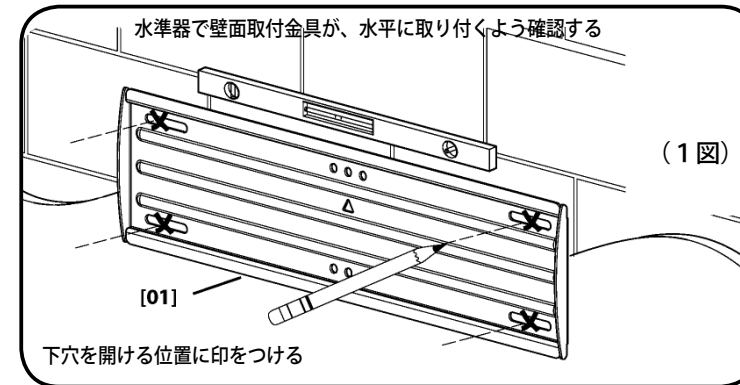
C 図

(4)

6 壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け



壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 36kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。



H 図

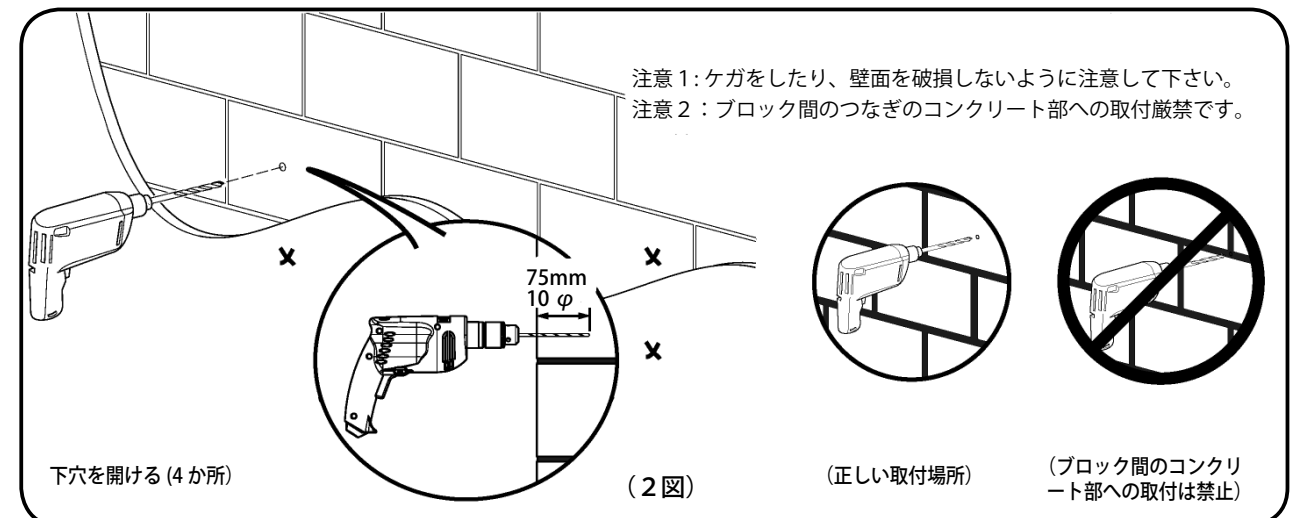
(1) (1 図) のように、壁面取付金具 [01] を型紙代わりに水平に置いて、穴の位置に 4 箇所印を付けます。

注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

壁面取付金具 [01] は、コンクリート壁面に直接取り付けます。

コンクリートの最小厚さ：200 mm、コンクリートブロックの最小サイズ：200 x 150 x 400 mm

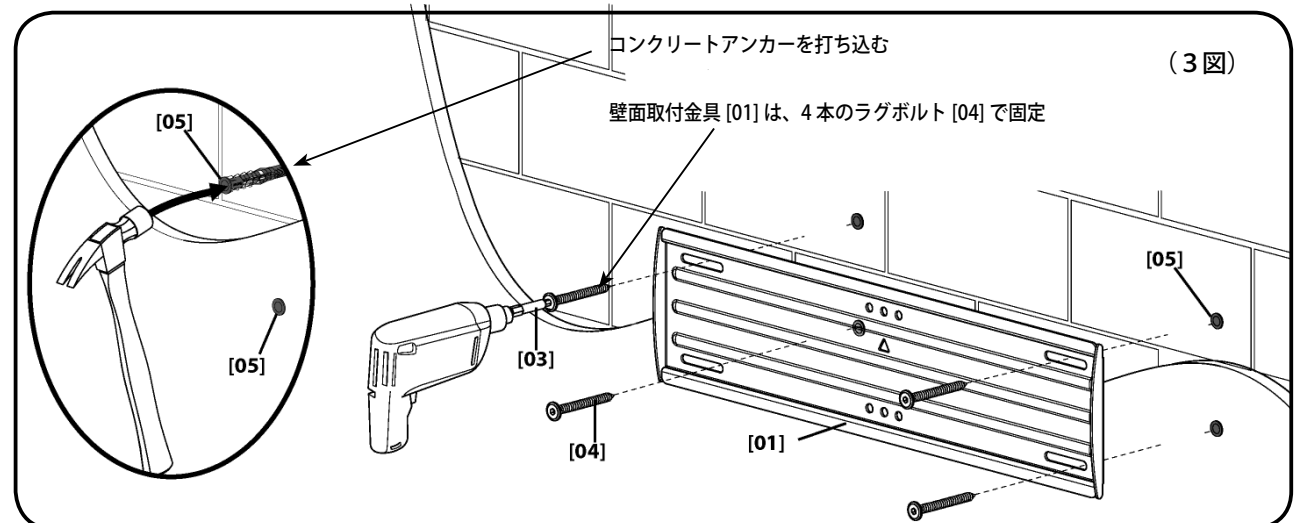
(2) 取付用下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、深さ 75mm の穴にします。(2 図)



注意 1：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。
注意 2：ブロック間のつなぎのコンクリート部への取付厳禁です。

(3) (3 図) のように、アンカーとラグボルト [05] を打ち込みます。

(4) ドリルとドライバービット [03] を使って、ラグボルト [04] で壁面取付金具を取り付けます。



注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。適切に作業しないと、ラグボルトでしっかりと壁面取付金具を支えることができません。ケガをしたり、壁面を破損しないようにするには、次の点に注意してください。

A アンカー [05] がコンクリート壁面にきちんとそろっていることを確認します。

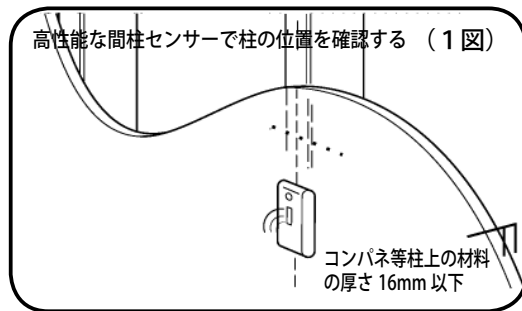
B 壁面取付金具 [01] にしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [04] を締めます。但しラグボルト [04] を締めすぎないようにして下さい。

(9)

5 壁面取付金具の木柱製の壁面への取り付け

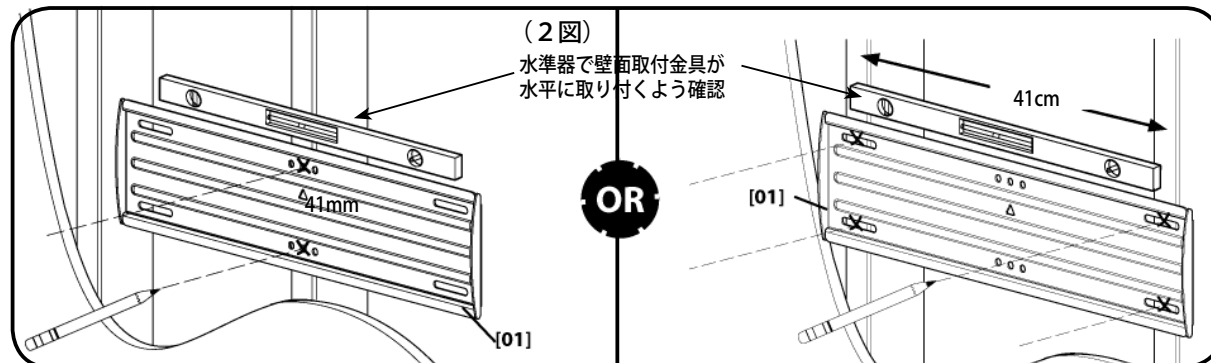


壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 36kg 薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

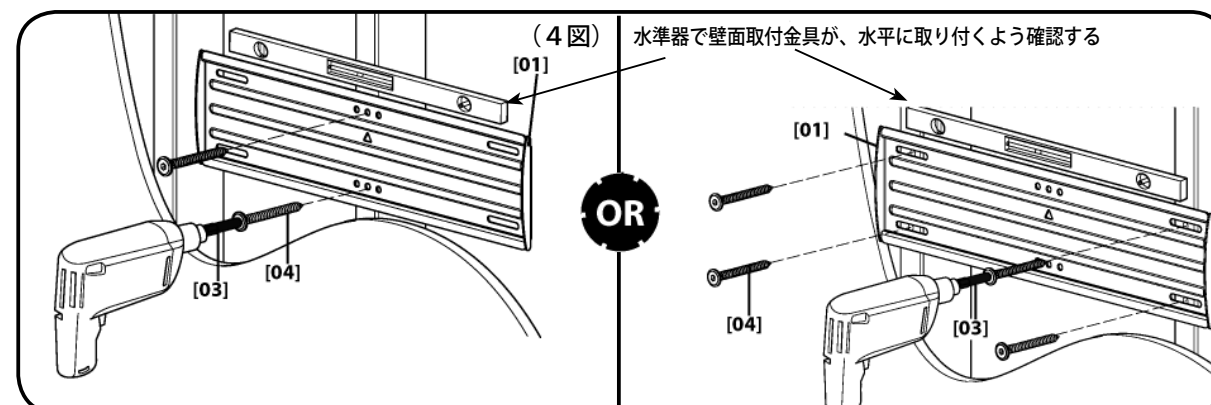
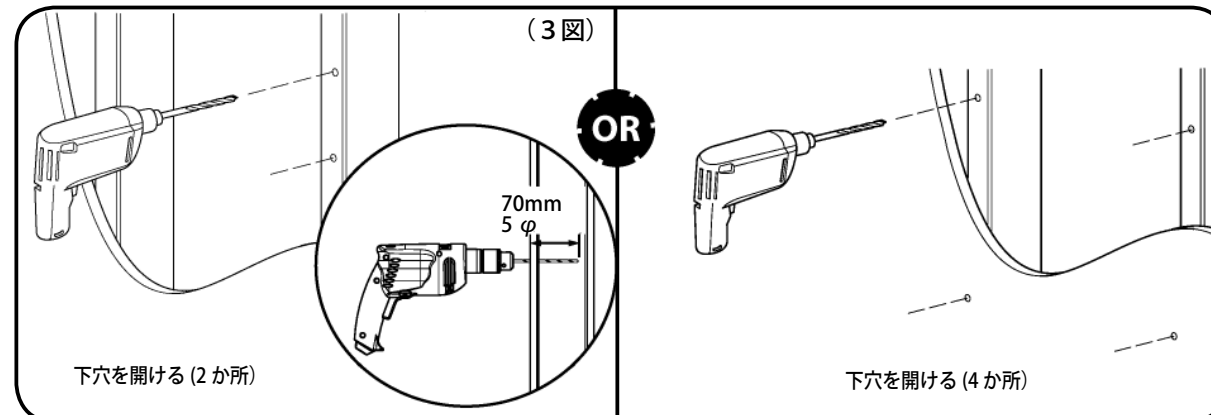


G 図

- (1) 柱の強度や構造等から、壁面取付金具 [01] を 1 本の柱に取り付けるのか (2 図～4 図の左側図)、又は 2 本の柱で取り付けるのか (2 図～4 図の右側図) を先ず決めます。
 - (2) 千枚通しや、細い釘や、高性能柱センサーを使って、木柱の中央を確認します。(1 図)
- 注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
- (3) 壁面を覆う材料が 16 mm を超えないようにして下さい。
最小の木柱の寸法: 通常 51 x 102 mm 。
 - (4) 壁面取付金具 [01] を水平に置いて、これを型紙代わりにして、取付穴の位置に 2 箇所、又は 4 箇所印を付けます。(2 図)



- (5) 印を付けた場所に、5mm 径の深さ 70mm の下穴を、1 本の柱に 2 箇所、又は 2 本の木柱に 4 箇所、ドリルで開けます。(3 図)



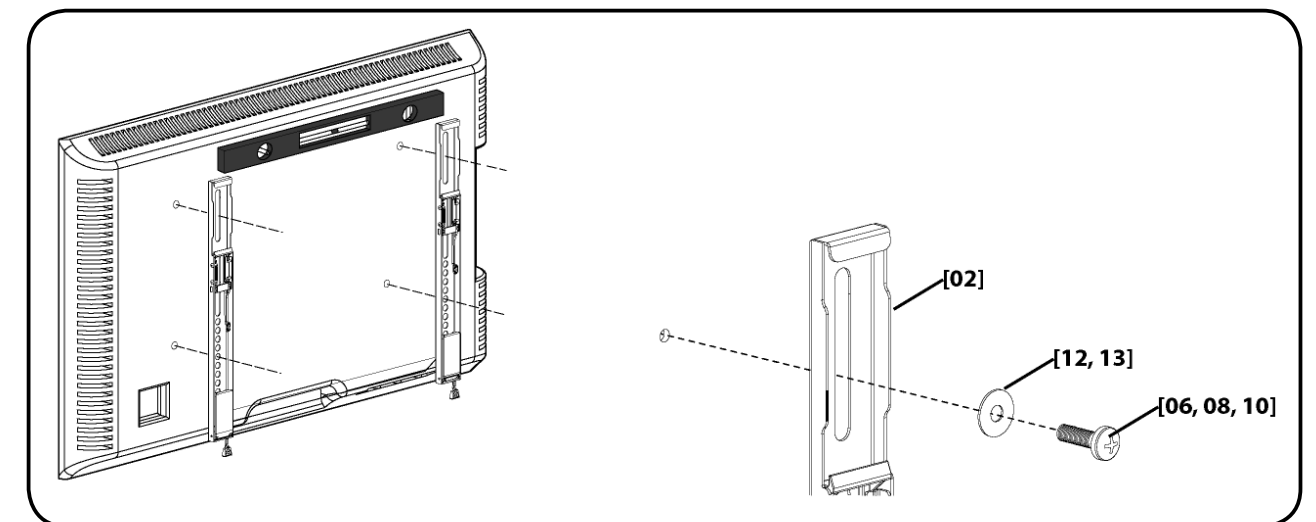
- (6) ドリルとドライバビット [03] を使って、M7x70mm の 4 本のラグボルト [04] を締めます。
- 注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
- (7) 壁面取付金具 [01] が、壁面にしっかりと取り付けられるまで、ラグボルトを締めます。しかし、ラグボルト [04] を締めすぎないようにします。

(8)

2 背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付

薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 前項の「組み立て前の準備」で調査した口径の、必要な長さのネジを準備します。
ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) M4 x 12 mm ネジ [06] を選択した場合、M4 ワッシャー [12] を使用します。
M6 x 14 mm ネジ [08] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [13] を使用します。
M8 x 16 mm 直径ネジ [10] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [13] を使用します。
モニターブラケットが薄型テレビの背面と水平になるようにして、しっかりと取り付けして下さい。
- (4) ケーブル、窪み、または突起に対して余分なスペースが必要な場合は、5 頁の 3 項を参照して下さい。
- (5) 二つのモニターブラケットは、図の様に正しく上下方向を均等に保ち、薄型テレビの左右の中央に、水平に配置します。



D 図

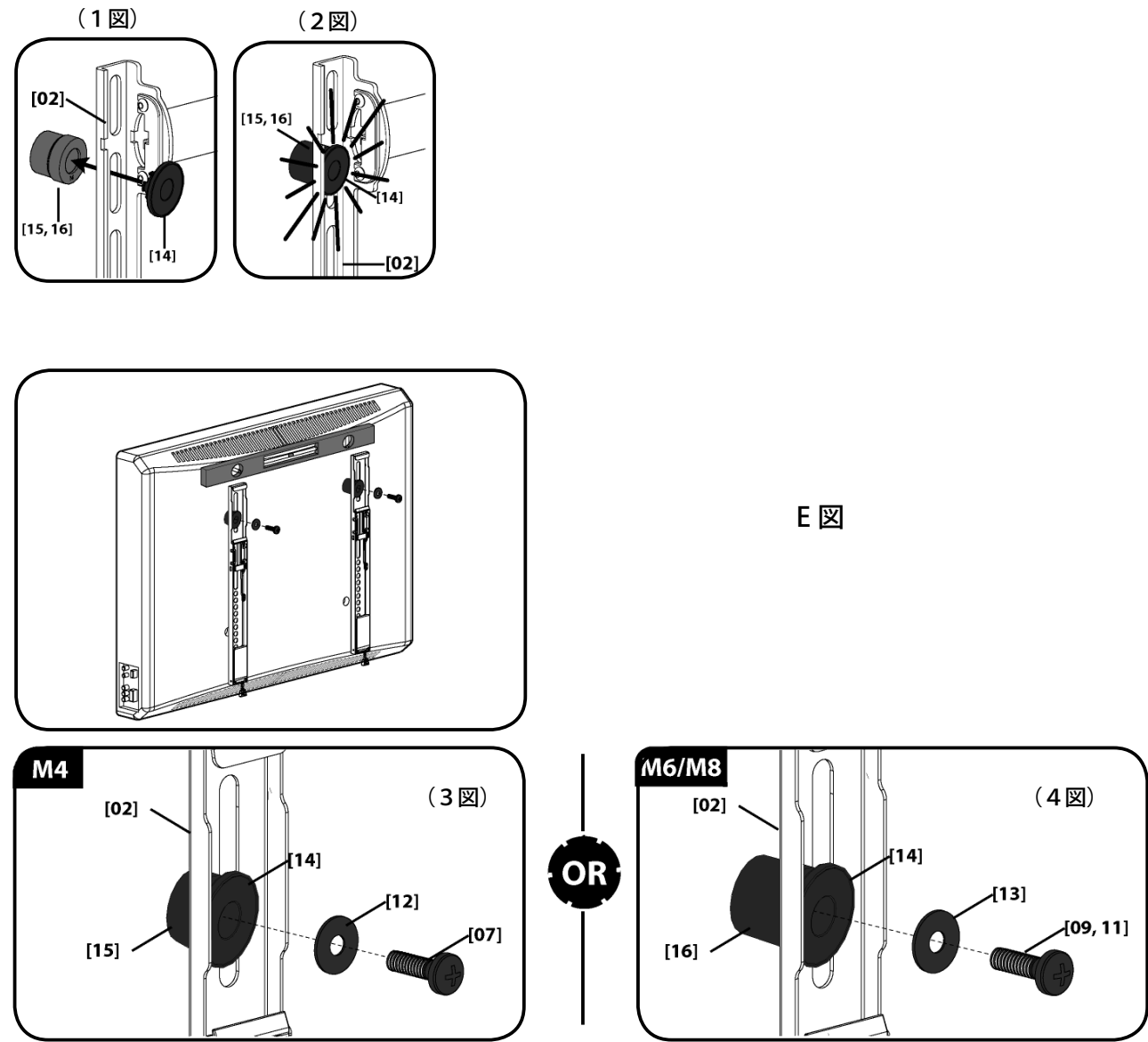
- (5)

3 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付

注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
2. テレビ取り付けの障害にならず、背面の湾曲に対応するため、最小のネジとスペーサーを組み合わせ使用して下さい。使用するネジが長すぎる場合、テレビ内部の部品等を破損する恐れがあります。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 適切なブラケット [02] の穴に、ショルダワッシャー [14] を通します。(1 図)
- (3) 4 頁の「2 薄型テレビの背面形状の確認と、モニターブラケット取付方法の選択」で調査した、スペーサーをショルダーワッシャー [14] に取り付けます。(2 図)
お使いのテレビの背面が湾曲していたり、障害物がある場合、またはケーブル、窪み、突起に対してスペースが必要な場合は、14 mm スペーサー [15]、又は 24 mm スペーサー [16] のいずれが最適なスペーサーを使用します。
- (4) M4 x 30 mm ネジ [07] を選択した場合、M4 ワッシャー [12] 及びスペーサー [15] を使用します。(3 図)
M6 x 40 mm ネジ [09] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [13] 及びスペーサー [16] を使用します。(4 図)
M8 x 45 mm ネジ [11] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [13] 及びスペーサー [16] を使用します。(4 図)
- (5) モニターブラケットが薄型テレビの背面と水平になるようにして、しっかりと取り付けて下さい。
- (6) 二つのモニターブラケットは、図の様に正しく上下方向を均等に保ち、薄型テレビの左右の中央に、水平に配置します。

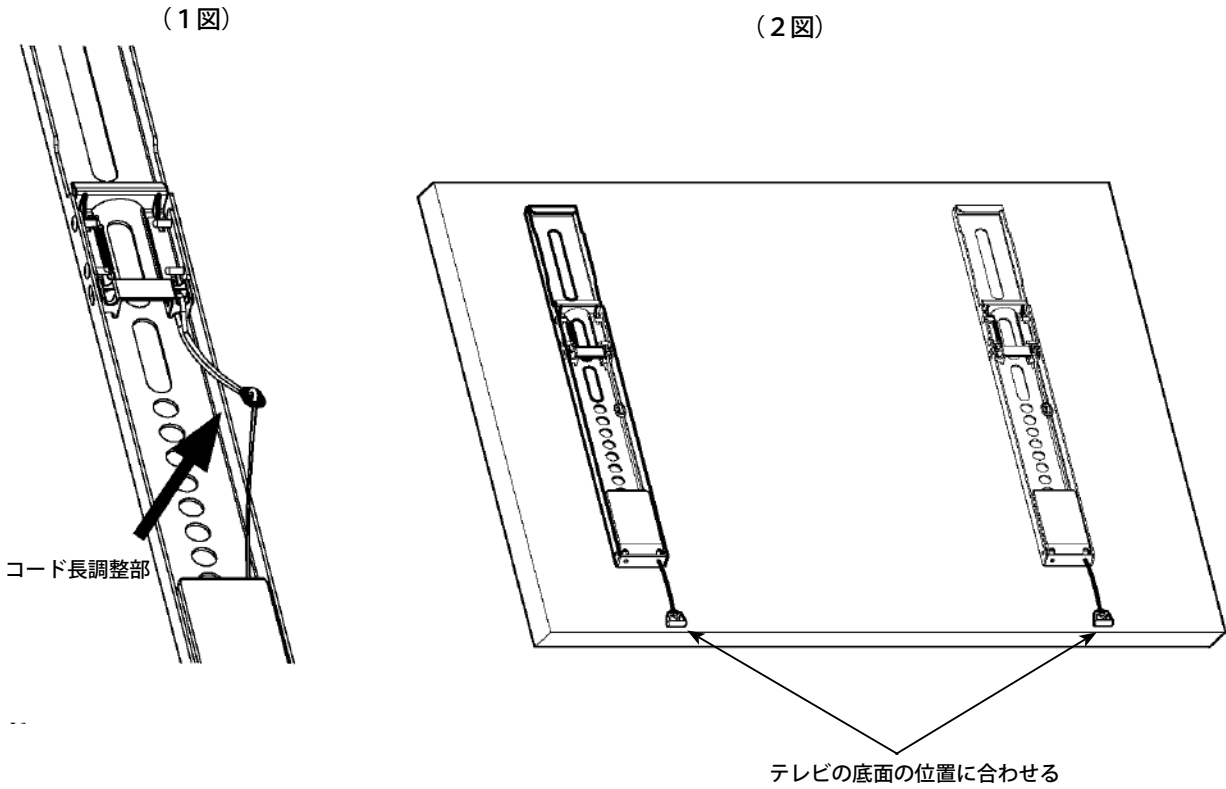
標準のハードウェア設定は図のとおりです。特別な用途の場合またはハードウェアの選択に関して確かではない場合、ネットワークジャパン（株）に連絡してください。



(6)

4 リリースコードの長さの調整

- (1) リリースコードの長さを調整するには、(1 図) のようにコードをブラケットからそっと引きます。
- (2) リリースコードの長さは、手が届きやすいように、薄型テレビの下部と同じ高さにしておきます。(2 図)
調整箇所は、(1 図) に示すコード長調整部で可変させて下さい。



F 図

(7)